

インターネット等の外部環境から隔離されており、可能性は低いと考えている。

議員 本市独自の新たなサービスなど、マイナンバーカードの利用範囲の拡充へよう適切に対応していく。

中小企業事業者に寄り添った支援に努めよ



公明党
大倉あき子 議員

議員 経済の持続的発展には中小企業への更なる支援が必要だ。中小企業の積極的な設備投資を後押しする生産性向上特別措置法による効果と課題を伺う。

生活環境部長 具体的効果や課題は今後見えてくるものと認識するが、先端設備を導入できない事業者への相談支援の強化が必要だ。

議員 事業承継の問題は喫緊の課題と考える。市内中小企業における事業承継の現状について伺う。

副市長 市内事業所数は平成21年から7年間で約800箇所減少している。事業承継できず廃業した事業所も一定数あるものと考えている。

議員 相続税等の納税を猶

予する事業承継税制の要件を緩和する特例措置の効果について所見を伺う。

副市長 より多くの事業者が使いやすい制度になったものと考えている。三鷹商工会が検討する支援事業と連携・協力しながら事業承継の支援を図っていきたい。

議員 中小企業の支援に当たっては、軽減税率の対策等、一歩踏み込んだ事業者に寄り添った対応が必要と考える。所見を伺う。

市長 事業者に寄り添った対応が様々な危機をチャンスに変え、市が信頼を獲得できるチャンスと考える。

その他の質問 たばこ対策について/バリアフリーのまちづくりについて

市民全員で取り組んでいくごみ対策を



公明党
赤松 大一 議員

議員 本市において家庭系ごみの有料化が開始されて10年が経つが、その成果と課題について伺う。

市長 平成30年度のごみ排出量は20年度比で約18%削減されたが、ここ数年は横ばい状況であるため、取り組みを一層推進する。

議員 コンビニに店のポイントが付くペットボトル回収機を設置し市民の意識向上に取り組んでほしいか。

市長 他自治体等における事例を研究し、ポイント制も含め幅広く検討する。

議員 環境等への影響が懸念されるマイクロプラスチック

ックに対してどのような認識を持っているか伺う。

生活環境部調整担当部長 大きな影響があり早急かつ実効性のある対策が求められていると認識している。

議員 ごみ減量対策として、市内イベントでのリユース食器使用が効果的と考えている。所見を伺う。

生活環境部調整担当部長 ふじみ衛生組合が実施する

誰もが安全安心な道づくり



公明党
寺井 均 議員

議員 市内の都道には路面が荒れていたり、危険な箇所も多くある。都に整備を申し入れるだけではなく、本市としても未然に事故を防ぐ処置をすべきだ。

市長 これまでも歩行空間の改善等を都や三鷹警察署と連携し対応してきたが、今後も一層の連携を図り安全安心の確保に努める。

議員 買収された多くの都市計画道路用地は空き地状態のままである。駐車場や公園、高齢者の休憩場所等に有効活用してはどうか。

都市整備部長 休憩場所としての活用については、三鷹警察署とも協議し個別の事案ごとに検討したい。

議員 散歩中の保育園児に

ふじみまつりでリサイクル容器を活用している。市内の行事でもリユース食器の活用が進むよう検討する。

議員 児童・生徒が学校・学園を超えて、環境について意見交換を行う子ども環境サミットを開催すべきだ。

教育部長 各学校で行われている環境教育の共有とその手法について、市長部局と連携しながら検討する。

車両が衝突するという事故が他県であった。同様の事故を防ぐため、市内の全保育園で交通安全対策のマニユアルの再点検が必要だ。

子ども政策部調整担当部長 安全保育及び危機管理のマニユアルの再確認と周知徹底を図るとともに、園外活動で通行する道路の危険箇所を確認するなど安全対策の強化に取り組んでいる。

議員 住宅街の防犯カメラは依然少ない状況だ。市から積極的に町会や自治会に設置を働きかけられるべきだ。

副市長 安全安心パトロールを実施している団体に案内しており、今後も実施団体の拡充と防犯カメラの設置について働きかけたい。

本市独自の小・中一貫教育の更なる充実と発展を



民主緑風会
小幡 和仁 議員

議員 小・中一貫教育の更なる発展には学校支援ボランティアの育成が不可欠

だ。当該ボランティア活動における課題とコミュニケーション・スクール推進員に期待

する役割等について伺う。

教育部長 当該ボランティアの人財確保と育成が課題と考える。今後は放課後の学習補助も含めた学習補助ボランティアを確立するとともに、当該推進員には学校と地域人財をつなぐ役割等を期待する。

議員 本市の小・中学校におけるいじめの認知件数はここ数年減っていない。いじめを減らすための具体的な取り組みについて伺う。

教育部長 軽微ないじめもな取り組みについて伺う。

市長 施設が老朽化していることもあるので、長期的な視点を持って議論しながら進めていく。

議員 コミュニティバスの利用者数向上と赤字解消に向け、どのような対策を検討しているか。所見を伺う。

市長 交通不便地域の解消という視点を重要視すると同時に、バスを使って行きたくなる場所の創出も必要と考えることから、施策を検討しながら進めていく。

時代の変化に即した行政対応を求めよ



民主緑風会
谷口 敏也 議員

議員 今年度のゴールデンウィークは10連休であったが、全国的には長期休暇後に児童・生徒が自殺したり、不登校になりやすいと聞く。本市の対応策を伺う。

教育部長 長期休業日前に自殺予防教育を行うとともに、連続で3日間欠席した児童・生徒には必ず家庭訪問を行うなど、不登校防止対策を行っている。

議員 本年4月に東京都の「子供への虐待の防止等に関する条例」が施行され



学校支援ボランティアの活動の様子

見逃さない、早期発見の意識の表れとして認知件数をむしろ評価している。具体的な対策として、家庭・地域・学校の連携、いじめ防止授業、情報モラル教育等に取り組んでいる。

議員 市の図書館は蔵書収容率98・5%と限界に近い。市が目指す滞在・交流型図書館の実現には抜本的な取り組みが必要と考える。所見を伺う。

市長 施設が老朽化していることもあるので、長期的な視点を持って議論しながら進めていく。

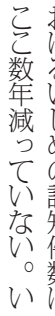
議員 コミュニティバスの利用者数向上と赤字解消に向け、どのような対策を検討しているか。所見を伺う。

市長 交通不便地域の解消という視点を重要視すると同時に、バスを使って行きたくなる場所の創出も必要と考えることから、施策を検討しながら進めていく。

等を見直し検討していく。

議員 子どもの指導において、乱暴な言葉等で鍛えられ上達等につながるかと勘違いしている大人がいる。精神的に追い込むような指導も体罰であることを、教師や指導者等に対し、研修や注意喚起するべきだ。

学校トイレを早急に改善し健やかな学校生活を



日本共産党
紫野あすか 議員

議員 多くの市民から、学校のトイレについて、汚い、洋式に変えてほしいという要望を聞く。学校は市民も利用する場所である。市民から学校のトイレについての要望はあるか。

スポーツ文化部長 利用者からは、もっときれいにしてほしい、洋式に変えてほしいといった声がある。

議員 最近洋式のトイレが主流となっている。いつまで何の洋式化する、という具体的な目標はあるか。

教育部長 洋式化率の低い学校を優先し、給排水管の劣化状況等も踏まえ、計画的に改善を進める。

議員 学校は緊急時の避難場所になることもあり、バ

た。条例制定後の本市の取り組みについて伺う。

子ども政策部長 児童相談所から本市の子ども家庭支援センターへ移管される虐待案件に対応するため、職員を増員し、関係機関等との連携を強化している。

議員 児童虐待を許さない市として、子どもたちを守るための本市独自の児童虐待防止条例を制定するべきだ。所見を伺う。

市長 現在、条例制定は考えていないが、他市の動向

園外活動時における園児の安全確保に努めよ



日本共産党
前田 まい 議員

議員 本市では安全保育のマニユアル等で散歩等への注意喚起を行ってきた。マニユアルにはお散歩マップを活用するところがあるが、保育園等にマップの作成を義務

市長 体罰を用いない指導の成功例は多くあり、指導方法の変化を学習する機会には必要だと考えている。

議員 教育委員会の所見も同様に伺う。

教育部長 精神的な苦痛等を与えることは不適切だと研修でも力を入れ伝える。

子ども政策部調整担当部長

子ども政策部調整担当部長

付けているのか。

子ども政策部調整担当部長 義務付けていないが、園庭がなく、散歩を日課としている認証保育所等には、今後作成と活用を促す。